

2022年5月6日平城山万葉旅行で観察した植物

ミヤコグサ（都草） マメ科ミヤコグサ属 *花期 = 4~7月

ミヤコグサと名の付いた同じ仲間、セイヨウミヤコグサ・ネビキミヤコグサ・シロバナミヤコグサ・ニシキミヤコグサ、がある。**名前の由来**は、京都や奈良に多く自生していたからと言う説と漢名の百脈根（ひやくみやくこん）が訛ってミヤコグサになったと言う説がある。変っているのは中央の袋状になった花弁に虫が乗ると穴から花粉を出し、花粉が出終わると雌蕊が袋を破り突き出てくる、冬には葉が枯れるが春には芽吹いてくる多年草、葉は奇数羽状複葉、全草が薬用酒として疲労回復、花には沈静作用があり炎症を抑えると言われている。：花言葉 = また逢う日まで・気まぐれな心



ユウゲシヨウ（夕化粧）別名アカバナユウゲシヨウ・アカバナ科マツヨイグサ属

マツヨイグサ属の花は全て南北アメリカ原産、現在日本には14種帰化している。**名前の由来**は夕方に開花することが「夕方、化粧をしたように咲くはな」と言われているが実際は昼間から咲いている、花の特徴は、丸い花弁が4枚で赤い筋がはいっている、ちゅうしんは黄色種の散布方法が変わっている、雨滴散布と言われている、雨が降ると鞘が裂けて中の種を雨水で流し、乾燥すると閉じて雨で開くを繰り返して繁殖。花期・5~9月・花言葉 = 臆病



ブタナ（豚菜）別名タンポポモドキ・キク科エゾコウゾリナ属・花期 = 6~9月

ヨーロッパ原産、日本で昭和8年北海道で発見、翌年六甲山で見つかり、当初はタンポポモドキと言われた六甲山で見付かった後にブタナとなった。**由来**はフランスで豚が好んでこの草を食べていたのでフランスでは豚のサラダとよばれていたのを和訳してそのまま名前となった、タンポポとの違いは、ブタナは葉の表裏に毛が密生、タンポポは無い、花径が枝分かれしているブタナ、タンポポは枝分かれしない、ブタナは冬ロゼット状で冬越し、タンポポ枯れる。花はタンポポと同じ舌状花で綿毛を飛ばして繁殖、春の若葉はサラダやお浸しで食べる美味しい、根はコーヒーの代わりに、花言葉 = 最後の恋



ニガナ（苦菜）キク科ニガナ属・花期 = 5~7月

日本全土に分布、東南アジア、**名前の由来**、茎や葉に苦みのある白色の汁を含んでいるので。花は5弁花に見えるが、舌状花である、茎の上部で枝分かれしている、葉は根生葉は葉柄があるが、茎葉は基部で茎を抱く、同じ仲間、ハナニガナ、⇒ シロバナニガナ、高山帯にはクモマニガナ、タカネニガナがある。*花言葉 = 質素

ハナニガナ花弁多い



セッカニワゼキシヨウ（雪花庭石菖）アヤメ科ニワゼキシヨウ属・花言葉無い

別名・コニワゼキシヨウ、北アメリカ原産、日本に帰化したのは新しく2010年に認知された、**名前の由来**は、白い花弁であるので雪に例え雪花（セッカ）となった、ニワゼキシヨウは葉がセキシヨウの葉に似ていて、庭の芝生に生えているところから。セッカニワゼキシヨウは花弁のさきが細く尖っていて1本筋がある。花は昼前に開き3時頃には閉じる、曇りの日は閉じて開花しない。同じ仲間、ニワゼキシヨウ・オオニワゼキシヨウがある。オオニワゼキシヨウは花はニワゼキシヨウに比べ小さいが茎の背は高い。



セッカニワゼキシヨウ

アメリカフウロウ（アメリカ風露）フウロウソウ科フウロウソウ属

1932年京都で発見され日本全土に帰化分布している、全体的に軟毛に覆われている、葉は円形で五裂しており、やせ地に生えているものは茎や葉の縁が赤味を帯びる、**名前の由来**のフウロウは判らない、北アメリカ原産だから頭にアメリカが付いたが、フウロウと名の付く花他にもハクサンフウロウ、イブキフウロウ、エゾフウロウ、グンナイフウロウ、等々多くあるがアメリカインディアンでは薬草として使われていたようです、葉や茎は食べることが出来る、薬効としては、消毒、収れん作用、強壮、が挙げられるが胃腸炎、内出血、月経過多の治療に使われることがある。*花言葉 = 誰か私に気づいて、*ひっそりと目立たつことなく咲いているので、

オオニワゼキシヨウ

ニワゼキシヨウ



マンテマ(まんてま) ナデシコ科マンテマ属 *花期5~6月 *花言葉は無い。

名前の由来、諸説ある、以前ハムギセンノウ属であったのでその時の「アグロステマム」が訛つたの説、「ハマベマンテマ」の小種名「マルテイマ」が語源の説、等あるがどれも判然とし無い。ヨーロッパ原産の1~2年草、江戸末期に観賞用として渡来したのが逸出して野生化、本州~九州まで帰化分布最大の特徴は全体に毛が多い、この毛は腺毛と呼ばれ植物に生える毛の様な突起のことで、ここから特殊な液体を分泌している、葉は対生へら形全縁でやや波打つ、葉柄無い、花弁5、色は暗い赤、縁は白い、一方に偏つている、実際は花弁は白で暗い赤い斑が入っている、他に、サクラマンテマ、シロバナマンテマ、ホザキマンテマ、タカネマンテマ等がある。



<https://love-evergreen.com/qa/topic/7392>